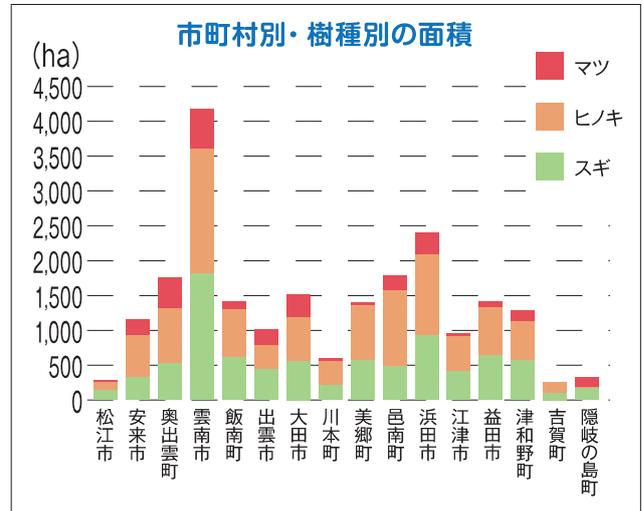
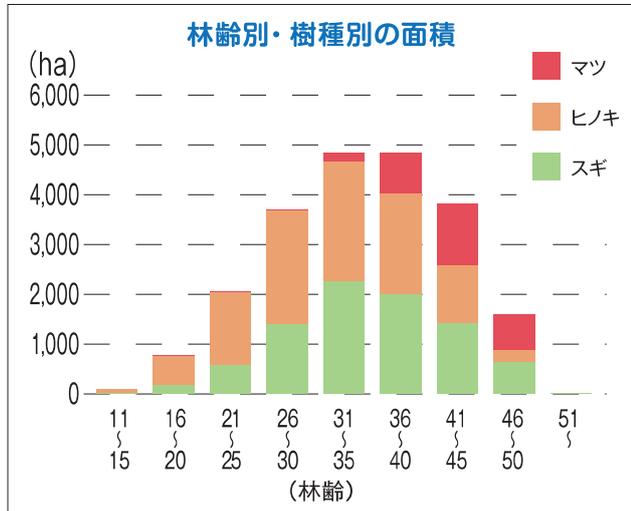


林業公社が果たしてきた役割(地域雇用、経済、公益的機能)

昭和40年から平成14年までの38年間に、約2万2千haのスギ・ヒノキ・マツを造林しました。設立当初は、マツの造林が盛んに行われました。その後スギ・ヒノキの造林が中心となりました。



● 林業公社造林地の概要

人工造林面積

2万2千ヘクタール

島根県内の人工林面積の
約11%を占めています

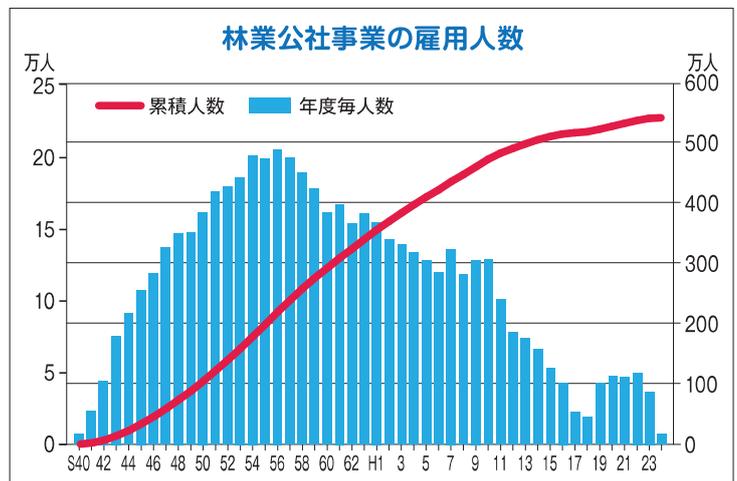
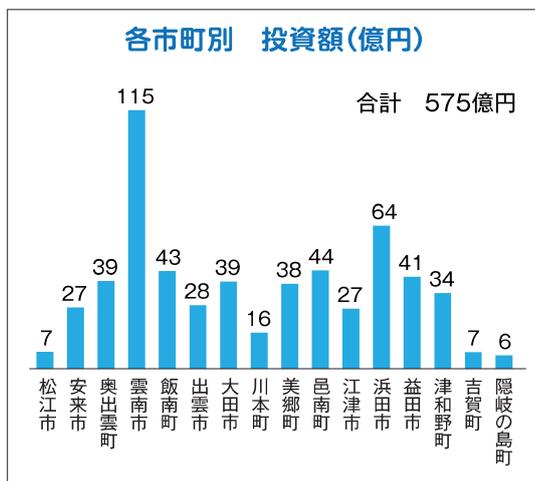
契約団地数

1,911団地

契約造林地所有者数

5,726人
(延べ7,086人)

林業公社は昭和40年の設立以降、現在に至るまで、拡大造林や保育事業を行ってきました。その事業費の大半が賃金として、県内の中山間地域へ投資されてきました。その結果、累計約543万人日の雇用を創出し、農山村経済の振興に大きな役割を果たしてきました。



公社造林地 約2万2千haは、洪水や渇水を緩和する働きや、土砂災害を防止する働きがあり、その効果は、毎年716億円に及ぶと評価されています。

● 林業公社経営林の公益的機能の評価額

機能の種類	評価額	役割
水源かん養	水の貯留 82 億円 洪水の防止 67 億円 水質の浄化 123 億円 計 272 億円	森林の土壌が、降水を貯留し河川へ流れ込む水の量を平準化して、洪水や渇水を防ぎ、さらにその過程で水質を浄化する役割
土砂流出防止	290 億円	森林の下層植生や落葉落枝が地表の浸食を抑制する役割
土砂崩壊防止	70 億円	森林が根系を張り巡らすことによって土砂の崩壊を防ぐ役割
保健休養	6 億円	森林が人に安らぎを与え、余暇を過ごす場として果たしている役割
野生鳥獣保護	33 億円	森林が果たしている野生鳥獣の生息の場としての役割
大気保全	二酸化炭素の吸収 11 億円 酸素供給 34 億円 計 45 億円	森林がその成長の過程で二酸化炭素を吸収し、酸素を供給している役割
合 計	716 億円	

(出典：島根県農林水産部)

林業公社創立50周年を迎えて

林業公社は、平成27年7月24日(金)に松江市において 50周年記念式典を開催しました。この式典では、島根県知事をはじめ、多くの関係者と公社が果たしてきた役割を振り返るとともに、今後の歩むべき方向を確認しました。



溝口島根県知事の来賓祝辞



絲原島根県議会議長の来賓祝辞



東京大学白石教授の記念講演